

## 2020年第4四半期および2020年通期決算（日本語抄訳）

プレスリリース

パリ、2021年2月10日

### 2020年第4四半期：業績および財務状況の改善を確認

依然として健康・経済危機の影響を受ける環境下で、底堅い収益（2020年第3四半期比1.6%増\*、2019年第4四半期比2.3%減\*）

規律ある経費管理を継続したこと（2019年第4四半期比3.0%減<sup>(1)</sup>）により伸び率で収益が経費を上回る効果を確認

リスク費用は54ベースポイントと非常に好調なローン・ポートフォリオや堅実な引当金を反映  
グループ基礎当期純利益：6億3,100万ユーロ（報告ベース：4億7,000万ユーロ）

### 2020年通期：責任ある危機管理、底堅い事業、堅固なバランスシート

継続的な顧客の支援、特例的な人事異動

グループ基礎当期純利益：14億ユーロ（報告ベース：2億5,800万ユーロの損失）

基礎営業費用：165億ユーロ<sup>(1)</sup>（2019年比5.2%減<sup>(1)</sup>）

リスク費用は64ベースポイントに抑制（債権総額の41%相当となる、正常債権に対する14億ユーロの引当金を含む）

規律ある資本管理：普通株式等Tier 1比率は13.4%<sup>(2)</sup>と規制要件を約440ベースポイント上回る

欧州中央銀行（ECB）の勧告により認められた最大限度額に基づき算出された現金配当金の支払い：1株当たり0.55ユーロ

自社株買戻しプログラム：2021年第4四半期に予定、配当金支払総額と同額（約4億7,000万ユーロ、すなわちグループ普通株式等Tier 1比率に対して約13ベースポイントの影響）、ECBの勧告が更新されず、実施が認可されることを条件とする

### 2021年の優先事項：戦略的事業計画の規律ある実施

ソシエテ・ジェネラルとクレディ・デュノールのネットワーク統合に向けた準備の初年度

グローバルマーケット事業の再構築の完了

成長のけん引役の増強

企業の社会的責任の取り組みのさらなる推進

主にデジタル化による業務効率の強化

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています：

「第4四半期決算は、第3四半期に確認された新型コロナウイルスの危機を受けた年初からの回復をさらに裏付けるものとなりました。ソシエテ・ジェネラルは質の高い事業基盤とバランスシートへの自信とチームの卓越したコミットメントを活かし、下半期に意欲的かつ価値を生み出す戦略的な事業方針を明確に打ち出しました。それにより、非常に不透明な環境下における適応力と変革する力を実証しました。当グループは2021年に向けて、自信と決意をもって、戦略的事業計画の実施を最優先課題として掲げています。ソシエテ・ジェネラルは、デジタル技術の利用拡大や企業の社会的責任への関心の高まりなど今回の危機によって加速したあらゆる変革において、当グループの存在意義であるとおり、今後もお客さまを支援いたします。」

(1) 基礎データ（会計上データから基礎データへの移行については、英文原稿の methodology note の第5項を参照）

(2) 段階的適用の比率；全面適用の比率：13.2%

本書の脚注\*はグループの編成の変更および為替レートの変動による影響の修正再表示後の数値を示す

## グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2020年 第4四半期	2019年 第4四半期	増減		2020年	2019年	増減	
銀行業務純利益	5,838	6,213	-6.0%	-2.3%*	22,113	24,671	-10.4%	-7.6%*
営業費用	(4,351)	(4,503)	-3.4%	-0.2%*	(16,714)	(17,727)	-5.7%	-3.4%*
基礎営業費用 <sup>(1)</sup>	(4,318)	(4,595)	-6.0%	-3.0%*	(16,504)	(17,411)	-5.2%	-2.8%*
営業総利益	1,487	1,710	-13.0%	-7.8%*	5,399	6,944	-22.2%	-18.8%*
基礎営業総利益 <sup>(1)</sup>	1,520	1,618	-6.0%	-0.1%*	5,609	7,260	-22.7%	-19.5%*
純リスク費用	(689)	(371)	+85.7%	+92.4%*	(3,306)	(1,278)	x 2.6	x 2.7*
基礎純リスク費用 <sup>(1)</sup>	(669)	(371)	+80.3%	+86.8%*	(3,286)	(1,260)	x 2.6	x 2.7*
営業利益	798	1,339	-40.4%	-36.4%*	2,093	5,666	-63.1%	-61.6%*
基礎営業利益 <sup>(1)</sup>	851	1,247	-31.7%	-26.8%*	2,323	6,000	-61.3%	-59.8%*
その他の資産からの純損益	(94)	(125)	+24.8%	+24.9%*	(12)	(327)	+96.3%	+96.3%*
その他の資産からの基礎純損益 <sup>(1)</sup>	7	12	-41.7%	-40.7%*	166	59	x 2.8	x 2.8*
持分法適用会社当期純利益	3	(154)	n/s	n/s	3	(129)	n/s	n/s
基礎持分法適用会社当期純利益 <sup>(1)</sup>	3	4	n/s	n/s	3	29	n/s	n/s
のれんの減損損失	0	0	n/s	n/s	(684)	0	n/s	n/s
法人所得税	(125)	(230)	-45.7%	-46.9%*	(1,204)	(1,264)	-4.8%	+9.2%*
グループ報告当期純利益	470	654	-28.1%*	-17.6%*	(258)	3,248	n/s	n/s
グループ基礎当期純利益 <sup>(1)</sup>	631	875	-27.9%	-20.3%*	1,435	4,061	-64.7%	-63.9%*
ROE	2.4%	3.7%			-1.7%	5.0%		
ROTE	2.7%	5.0%			-0.4%	6.2%		
基礎ROTE <sup>(1)</sup>	4.1%	6.2%			1.7%	7.6%		

(1) 特別項目およびIFRIC第21号による影響の線形化の修正再表示後

2021年2月9日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの2020年第4四半期決算が精査され、2020年通期決算が承認された。

基礎データから公表データへの移行に伴う様々な修正再表示については、英文資料の付属書類2の第5項を参照のこと。

— 中略 —

## 連結貸借対照表

資産の部 (単位：百万ユーロ)	2020年12月31日	2019年12月31日
現金および中央銀行預け金	168,179	102,311
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	429,458	385,739
ヘッジ目的デリバティブ	20,667	16,837
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	52,060	53,256
償却原価で測定する有価証券	15,635	12,489
償却原価で測定する銀行預け金	53,380	56,366
償却原価で測定する顧客貸出金	448,761	450,244
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	378	401
保険事業の投資	166,854	164,938
税金資産	5,001	5,779
その他の資産	67,341	68,045
売却目的保有非流動資産	6	4,507
持分法適用投資	100	112
有形および無形固定資産*	30,088	30,844
のれん	4,044	4,627
<b>合計</b>	<b>1,461,952</b>	<b>1,356,495</b>
<b>負債の部 (単位：百万ユーロ)</b>	<b>2020年12月31日</b>	<b>2019年12月31日</b>
中央銀行預り金	1,489	4,097
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	390,247	364,129
ヘッジ目的デリバティブ	12,461	10,212
発行債券	138,957	125,168
銀行預り金	135,571	107,929
顧客預金	456,059	418,612
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	7,696	6,671
税金負債	1,223	1,409
その他の負債*	84,937	85,254
売却目的保有非流動負債	-	1,333
保険契約関連負債	146,126	144,259
引当金	4,775	4,387
劣後債務	15,432	14,465
<b>負債合計</b>	<b>1,394,973</b>	<b>1,287,925</b>
<b>株主資本</b>		
<b>株主資本、グループ持分</b>		
発行済普通株式および資本準備金	22,333	21,969
その他資本性金融商品	9,295	9,133
利益剰余金	32,076	29,558
純利益	(258)	3,248
<b>小計</b>	<b>63,446</b>	<b>63,908</b>
未実現・繰延キャピタル損益	(1,762)	(381)
<b>資本、グループ持分小計</b>	<b>61,684</b>	<b>63,527</b>
非支配持分	5,295	5,043
<b>資本合計</b>	<b>66,979</b>	<b>68,570</b>
<b>合計</b>	<b>1,461,952</b>	<b>1,356,495</b>

\*財務業績は、IFRS第16号に関する2019年11月26日付のIFRS解釈指針委員会(IFRS IC)の決議に伴い、2019年12月31日を期末とする年度の公表済み財務諸表と比較して修正再表示したものの。

---

## ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルはユーロ圏最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用しています。強固な財務基盤を維持し、イノベーションにおける専門性で高い実績を有しています。持続可能かつ責任ある成長を目標とする経営戦略を実行しており、お客さまから信頼されるパートナーとなり、地域社会と経済に有益な変化をもたらすことを目指しています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて150年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界62カ国の拠点に13万8,000人を超える従業員を擁し、2,900万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。当グループは、以下3つの主力業務部門から構成されています。

- ・ **フランス国内リテールバンキング部門**：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ・デュノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ **国際リテールバンキング&金融サービス部門**：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ **グローバルバンキング&インベスターソリューションズ部門**：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（世界および欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、Euronext Vigeo（世界、欧州、ユーロ圏）、4つのSTOXX ESGリーダーズ指数、MSCI低炭素リーダーズ指数の構成銘柄です。

詳しくは当社のウェブサイト [www.societegenerale.com](http://www.societegenerale.com) またはツイッター  @societegenerale をご覧ください。

---